

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

実施事業名	多世代交流「食育サロンe-たいむ」（補食編）		
団体（グループ）名	子育て支援ワーカーズ きらきら	代表者名	岡 幸代
① 地域の課題 [課題を何と考えて事業を行った（行う）のか]	子育ては子育て世代だけが頑張るものではなく様々な方々との関わり合いの中で地域全体でするものとの思いと、ママ達が子どものおやつについて難しく捉えているのか作ることをせずに安易に市販されているチョコやグミなどを低年齢のうちから与えていることが気になり、このふたつの課題を解決するべくどなたでも集える多世代交流サロンで楽しみながら食についても学んで頂けたらと思いました。		
② いつ [事業実施日時]	終了済み 2024/7/17・7/31・8/21・9/18・10/16・11/4・11/20 今後開催予定日 12/18・2025/1/15・2/19・3/19		
③ どこで [場所]	新栄会館（錦町18-1）		
④ 誰のために [対象者]	主に子育て中の親子と地域に暮らす全ての方のため		
⑤ 実施内容・進捗状況 [どんなことをした（する）のか]	7/17かんたん蒸しパン 7/31プルプルミルクゼリー友の会の方に講座依頼 8/21マカロニきな粉きな粉の栄養についてミニ講座おまけに小魚のおやつ 9/18ゴマたっぷりクッキーごまの栄養ミニ講座 10/16カリカリ大学芋さつま芋の栄養ミニ講座と日本リサイクルネットワークによるゴミの話親子編 11/4食育e-たいむまつりでたくさんの人と食を共にする楽しさに触れる 11/20メロンパンクッキー		
⑦ 事業の効果 [どんな効果があった（ある）か]	興味を持っていらしてくれる親子の来場が増えています。今まではママ達の癒しを一番にくつろぎの場と子どもの遊び場を考えて行っていたが、そこにおうちに有るもので簡単に作れる親子共通のおやつを提供とレシピとミニ講座（座学）を入れることで、ママとスタッフとの距離もより近づいた感じがします。「食」は家庭の中心であり、子育て中は特に大切な部分。忙しいと市販のものに頼りがちですが決して力むことなく簡単で身体に良くお財布にも優しいことを伝え、ママ同士も食を通じてより交流が盛んになった様子が伺えます。核家族で子育てしているママ達に子育て支援をしている私たちだからこそ伝わりやすいのかもと思います。子育てを終わった先輩たちも改めて知る話や共感してもらえる部分もあるようで、楽しんで参加していただいているのを感じます。		
⑧ 事業の展望 [今後どうするのか]	おまつりをしたことがきっかけで、より自治会の方々との繋がりが深まって来たところ です。続けていくことで自治会の方の参加も増えていくのではと思いますし、おやつを楽しみにして下さっている事も感じています。補食に限らず食事についても伝えていきたいことがまだまだありますので、内容を改めながら日数も増やす方向で考えていきたいと思っています。		

自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

※ 毎回作成している つづいていくことの出来る
ラミネート加工した レシピです。



ここに
車輪のリングを
つけています。

7/31 プールミルクゼリー

大きなお口あけて 食べている様子



9/18 グマたっぷりクッキー

ごまについてのミニ講座



11/4 食育e-たいむまつり

